

4月27日 午後の活動

枯れた赤松の伐倒作業とジュニアたち



ヘルメットかぶって伐倒の準備作業を見ているジュニア。



足場の悪い斜面で電動のこぎりを使って赤松を伐倒。



赤松の切株と腐食した皮を集めて森の入り口に展示するジュニア。



サポータの赤松の切株についての説明をお父さんと一緒に聴くジュニア。

午後の陽だまりのぬくもりの中、みんなで木製ペンダントを作った。



出来上がった木製ペンダントを誇らしげにそして嬉しそうに見せてくれたジュニアたち。

2. 第2回 2025年8月17日(日) テーマ「木の枝から色えんぴつをつくる」

木の枝でつくる色えんぴつに取り組む前に「小学生のための南山城村 野殿の森の木の図鑑」(右の画像)をジュニア全員に配布し、野殿の森に植生している木の種類を学び、森の大きな恵みと豊かな資源の存在を学んだ。



野殿の森の樹木について学習中



講義の後は、獣道に入り、「木の図鑑」を片手に色えんぴつに加工する枝を探した。初めて森の中を歩くジュニアたちで遊園地のようにぎやかさ。中には木登りを楽しむジュニアもいた。



木の枝を 30cm ほどの長さに切り出す。サポータも一所懸命に手伝った。



木の枝を 30cm ほどの長さにした。



色えんぴつの芯を通す穴をあけた後にドロナイフで先端を鉛筆状にカット。



木の枝の色えんぴつが完成した。

木の枝でつくる色えんぴつの最後の作業



木の枝の色えんぴつ (見本)